



Beethoven
Symphony
No.9
in D minor op.125
"Choral"

黒部国際交流音楽祭・コラーレオープニングイベント

第3回 名水の里第九コンサート

1996 1.14 (Sun)
開場13:00
開演14:00

会場 ■黒部市国際文化センター
コラーレ〈カーターホール〉

Freude Freude Freude

海をこえたハーモニー

名水の里くろべを舞台に
姉妹都市米国ジョージア州メーコン市との
ジョイント合唱が実現。
海をこえた交流の喜びとともに
響き合う歓喜のハーモニーを
お楽しみ下さい。

指揮 ●十束尚宏
独唱 ●ソプラノ/岩井 理花(二期会会員) テノール/五十嵐 修(二期会会員)
アルト/岩森 美里(二期会会員) バス/高橋 啓三(二期会会員)

演奏 ●東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団
合唱 ●黒部で第九を歌う会 メーコン市民合唱団
曲目 ●ベートーヴェン:交響曲第九番 二短調 作品125 「合唱」

■チケット/前売 **¥4,000** 全席指定(当日¥4,500)

プレイガイド ●コラーレ・黒部メルシー・魚津サンプラザ・入善コスモ21
インフォーマット(富山市民プラザ・OIC)・富山西武チケットセゾン
お問い合わせ ●黒部で第九を歌う会事務局 ☎(0765) 54-1339

■主催/黒部で第九を歌う会・北日本新聞社・北日本放送・富山県合唱連盟
■後援/黒部市・黒部市教育委員会・黒部市芸術文化振興協会・黒部ライオンズクラブ・黒部ロータリークラブ
黒部青年会議所・黒部商工会議所青年部・黒部市連合婦人会・黒部市国際文化センター・黒部中央ロータリークラブ



“歓喜の歌”で姉妹都市交流

名水の里 第九コンサート



名水の里第九コンサートが、1月14日に国際文化センター“コラーレ”のカーターホールで開催されました。

国際交流音楽祭と銘打ったコンサートに、今回は姉妹都市のアメリカ・ジョージア州メーコン市から市民合唱団16名が参加しました。黒部で第九を歌う会のメンバーとともに“歓喜の歌声”を響かせたほか、滞在中はホームステイなどで市民との交流を深めました。

メーコン市民合唱団の一行は、翌日の成人式でも市内の新成人の前でその美しいハーモニーを披露しています。

市報



31 No.502

2月号

- ◆5期目の萩野市長にインタビュー…②
- ◆所得税・市県民税申告のお知らせ…⑤
- ◆コラーレからミュージカル公演のご案内…⑩
- ◆市民大学フェスティバルのご案内…⑪
- ◆人材募集のお知らせ…⑫
- ◆3歳未満児医療制度のお知らせ…⑬

編集発行/富山県黒部市役所 黒部市三日市725番地 発行定日/毎月1回10日発行

平成8年2月10日発行

発行部数/12,700部

市役所の電話番号 **54-2111**
ファクシミリ **54-4461**

名水の里に響け!!
よろこび
歓喜の
ハーモニー

- 【主催】 黒部で第九を歌う会
北日本新聞社
北日本放送
富山県合唱連盟
- 【後援】 黒部市
黒部市教育委員会
黒部市芸術文化振興協会
財黒部市国際文化センター
黒部ライオンズクラブ
黒部ロータリークラブ
黒部中央ロータリークラブ
黒部青年会議所
黒部商工会議所青年部
黒部市連合婦人会



Beethoven
Symphony
No.9
in D minor op.125
"Choral"

FreudeFreudeFreude

3回

米田 幹雄

Freunde Freude

海をこえたハーモニー

名水の里くろべを舞台に
 姉妹都市米国ジョージア州マコーン市との
 ジョイント合唱が実現。
 海をこえた交流の喜びとともに
 響き合う歓喜のハーモニーを
 お楽しみ下さい。

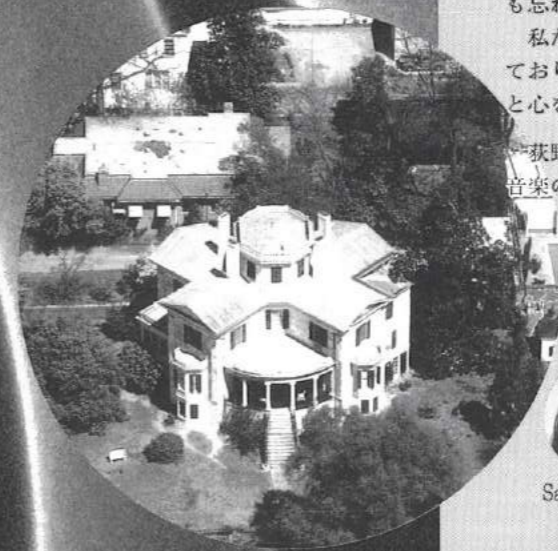


Dear Mayor Yukikazu Ogino and the People of Kurobe:
 Greetings from Macon, Georgia!!! We, the sixteen singers from Macon, feel it is a special privilege to be guests in your lovely city. Celebrating the opening of Kurobe's International Cultural Center and performing in the Carter Music and Theater Hall, performing Beethoven's Symphony No. 9, with the KUROBE CITY CHOIR and the TOKYO PHILHARMONIC ORCHESTRA, is an event we honor and will cherish for many years. We are greatly looking forward to this excited and meaningful cultural exchange. Let us unite our many voices and spirits in a great celebration of humanity!!!

All the best to you and your people,
 Yours in the spirit of music,
 Dr. Richard Zielinski
 Conductor

親愛なる萩野幸和市長と黒部市民の皆様へ
 ジョージア州マコーンからご挨拶いたします!!
 私たちマコーン市の16人の合唱団員は、素敵なお街・黒部にゲストとしてご招待いただき感謝しております。黒部市民合唱団や東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団とともに、ベートーヴェンの第九交響曲の演奏で黒部市国際文化センター・コラレのオープンを祝うことはこの上ない名誉であり、いつまでも忘れられない大切な思い出となることでしょう。
 私たちはこの感動的で意義深い文化交流をとっても楽しみにしております。人間性あふれるこのコンサートで、私たちの歌声と心をひとつに結び、響かせましょう!!

萩野市長さまと黒部市民の皆様へ感謝いたします。
 音楽のこころを込めて。
 ジョージア州マコーン市 マーサー大学音楽学部
 リチャード・ジリンスキー教授



CHORUS ROSTER マコーン市民合唱団

- | | | | |
|----------------|--------------|-----------------|-------------------|
| Soprano ソプラノ | | | |
| | | | |
| Sarah Gerwig | Amanda Luke | Carmen Trammell | Doris Terry |
| Alto アルト | | | |
| | | | |
| Nancy Brown | Cathy Hawley | Nancy Rehberg | Heather Woods |
| Tenor テナー | | | |
| | | | |
| Jean Dozier | Paul Judd | John L. Stubbs | Richard Zielinski |
| Bass バス | | | |
| | | | |
| Steve Delaigle | Jack Gleaton | Michael McAuly | Michael Peters |



国際交流音楽祭実行委員会
黒部で第九を歌う会会長

森丘 實

Minoru Morioka

Executive Director, International Music Festival
President, Beethoven's Symphony No.9 Choir

コラーレに響き合う国際交流の歓喜

黒部国際交流音楽祭は、昨年友好県州・米オレゴンのポートランド市ユース・シンフォニーオーケストラを招いたのに引き続き、このたびは黒部市の姉妹都市メーコン市（米ジョージア州）の合唱団を迎えて、第3回名水の里第九コンサートを開催する運びとなりました。思えば平成4年6月、立派な国際文化センターを夢見ながら、そのオープニングイベントには是非ベートーヴェンの壮大な第九「歓喜」のハーモニーの響きをを念頭してまいりました。その待望の黒部市国際文化センター・コラーレが素晴らしい文化の殿堂として完成をみました。いま、この大ホールはメーコン市とのジョイント合唱の実現で海をこえた交流の喜びとともに、響き合う「歓喜」の大きな渦に包まれようとしております。この国境を越えた歓喜の歌声と感動が、文化を始めようとする地域全体の盛り上がりにつながることを念じて止みません。

これまでにご指導、ご支援賜りました富山県、黒部市、YKK株式会社をはじめ関係団体、関係各位にあらためて厚く御礼申し上げます。

終わりに合唱のご指導を下さいました関屋 晋先生、浅岡節夫先生、および諸先生並びにソリストの方々、指揮者である十東尚宏先生に深く敬意と謝意を表します。



黒部市長

荻野 幸和

Yukihazu Ogino
Mayor of Kurobe

名水の里に響け歓喜のハーモニー

今年も「名水の里 黒部」にベートーヴェン交響曲第九番、歓喜の歌声が響き渡ることを心からお慶び申し上げます。

今回も昨年に続いて海外からの出演者との共演が実現し、しかも黒部市の姉妹都市・米国ジョージア州メーコン市から合唱団を招いての国際交流音楽祭とのことであり、その素晴らしい企画に心から賛辞を贈ります。

人間の生活の中で音楽ほど心の奥底に溶け込み、生きる喜びと励ましを与えてくれるものはありません。昨年11月に開館したばかりの、黒部市国際文化センター「コラーレ」で、幅広い市民参加のもとに老いも若きも一つになって、この「名水の里第九コンサート」を成功へ導かれるよう大きな期待を寄せるものであります。

どうか各位におかれましては、なお一層健康にご留意いただくとともに、日夜練習に励まれた成果を十分に発揮され、本日の演奏会が成功裡に開催されますよう、心からお祈り申し上げましてお祝いの言葉といたします。

第3回名水の里第九コンサートに寄せて

本日、黒部市国際文化センター「コラーレ」のオープニングイベントとして、第3回名水の里第九コンサートが開催されますことに黒部市民の嬉しさを感じ、喜びに堪えません。本日を迎えられるのも友の会の方々のおかげです。さらに、県、市、報道機関、「黒部で第九を歌う会」はじめ関係各位のご努力の賜物で、深甚の敬意を表します。

なお、この度のコンサートは「コラーレ」の竣工を待ち望んでおりました私たち黒部市民の歓喜の気持ちを素直に表すとともに、国際文化センターの名に相応しく、姉妹都市米国メーコン市とのジョイント合唱が実現されましたことに大きな意義を感じます。メーコン市桜祭り、青少年の交歓に始まり、今新しく音楽を通じまして両市の絆が一層強くなるものと信じております。

このコンサートが成功裡に終わりますように、また、国際文化都市黒部のいよさかを祈念いたします。



黒部第九友の会会長

中上 彬

Akira Nakagami

President, Beethoven's Symphony No.9 Choir Association



北日本新聞社代表取締役社長

上野 隆三

Ryūzō Ueno

President, Kita-Nihon Newspaper

国際色豊かな「第九」

「名水の里第九コンサート」が3回目を迎え、黒部市民にとってもすっかりおなじみのイベントになったようだ。

県内での定期的な「第九」は、富山、新湊、黒部の3ヶ所で開かれているが、黒部では毎回形がユニークでワクワクさせられる。第1回はバックが10台40手のピアノ、第2回では、アメリカと富山県それぞれの青少年オーケストラがつとめた。

今回は、おそらく県内でも最も施設の整ったホール「コラーレ」のオープニングイベントに組み込まれ、バックには本格的なプロのオーケストラ、コーラスには黒部と姉妹都市のアメリカ・メーコン市から16名が加わる。国際交流の盛んな都市だからできる華やかな「第九」になりそうだ。

北日本新聞社が古くからお世話している「第九」は、昨年で富山が31回、新湊が11回を数えた。どちらも「これを聴かないと年が越せない…」といわれるほどの一年のフィナーレ催事になっている。年が明けたすがすがしい時期に「名水の里第九」が聴けるのは、ぜいたくなことである。



北日本放送株式会社代表取締役社長

角尾 信一

Shinichi Kahuo

President, Kita-Nihon Broadcasting Co.

お祝いのことば

黒部市国際文化センターのオープン記念として開催される今年のコンサート。「海をこえたハーモニー」として黒部市の姉妹都市米国・ジョージア州メーコン市とのジョイント合唱が実現しました事は、関係各位の熱心な尽力の賜物と敬服しております。「苦悩から歓喜」の作曲家ベートーヴェンの『第九』が新しいホールに響き渡る時、この地域参加型コンサートが、国境の垣根を取り払い「歓喜に寄せて」の頌歌となるものと確信しています。

十二支第一番目の子年の幕開けを飾る当コンサートを通して、地域の活性化は勿論国際交流の輪を拡げ、生きとしけるものに欠く事の出来ない命の水の里—「名水の里くろべ」の名を世界に広められますよう祈念してやみません。



富山県合唱連盟理事長

富山大学教育学部教授

新井 文男

Fumio Arai

Board of Directors, Toyama Choir League
Professor, the department of education Toyama University

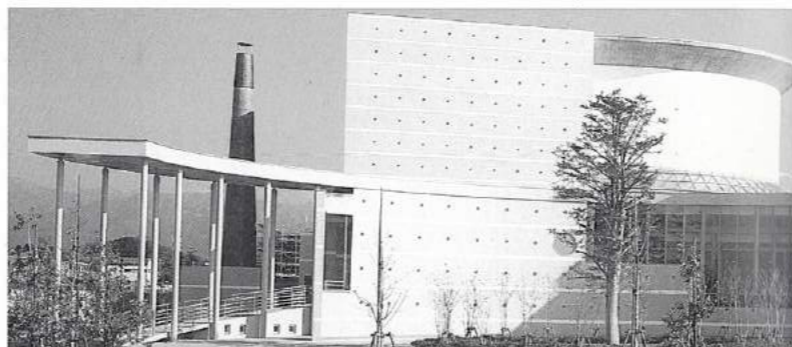
ベートーヴェンの音を求めて

第3回名水の里第九コンサートの開催を心よりお祝い申し上げます。待ち望んでいたホール・黒部市国際文化センター「コラーレ」という素晴らしい本拠地を得られた喜びに、市民あげての熱い思いが高らかに歌い上げられるものと期待しています。

昨年に続いて今回も、米国・ジョージア州・メーコン市から市民合唱団が参加されるとのこと、国際交流を深める意義深い公演と思います。

私は長い間第九の指導をしてきました。毎回思うことは、言葉のもつ世界とは異なり、ベートーヴェンの特質である音楽的な循環形式・ヴァリエーションが作り出す巨大な音の建築の偉大さであり、それはまさに音楽がそれ自身を追求して行く時のみ啓示してくれる見事な世界であると思います。シラーの詩をも飲み込んだ崇高な音の世界でありましょう。私たちの感動はそれを求めて行くところにあると思います。

精神の在り方に問題が投げかけられている今日、ベートーヴェンの世界の中で力強く歌う意義は非常に大きいと考えます。



黒部市国際文化センター
コラーレ



黒部国際交流音楽祭・コラーレオープニングイベント

第3回 名水の里第九コンサート

1996 1.14 (Sun)
開演13:00
開演14:00

会場 ■黒部市国際文化センター
コラーレ(カーターホール)

曲目 ベートーヴェン:レオノーレ序曲第3番 作品72b
:交響曲第九番 二短調 作品125 「合唱付」

指揮 十束 尚宏

独唱 ソプラノ/岩井 理花(二期会会員)

アルト/岩森 美里(二期会会員)

テノール/五十嵐 修(二期会会員)

バス/高橋 啓三(二期会会員)

演奏 東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団
合唱 黒部で第九を歌う会 メーコン市民合唱団



Program Notes

●ベートーヴェン:交響曲第九番 二短調 作品125 「合唱付」

ベートーヴェンが「第九」を完成させたのは、1824年の春まだ浅いころのことである。当時すでに53才になっていた彼は聴覚をまったく失っていた。しかし、その偉大なる精神と長年心の中に温めていたシラーの詩への熱い思いが、この大曲を完成に導いたのである。

ベートーヴェンがシラーの頌歌「歓喜に寄す」に出会ったのは、まだ20代の初めのころ。この詩の底に流れる民主的な思想にたいへん感激したベートーヴェンは、その時からいつかこの詩に曲をつけたい…と願っていたのである。その積年の思いがようやく実行に移されることになったのは47才のとき。実に30年という歳月を経て初心を貫いたことになる。

ベートーヴェンはこの偉大なる交響曲で一体何を言いたかったのか。自分自身の苦悩を経て喜びへ、ということだけでは決してないはず。彼は生涯独身であった。しかし、女性にあこがれ、友人を求め、弟や甥などの家族を大切にされた。彼は人間をこよなく愛する人であった。この冒頭の「友よ！」という呼びかけは、すべての友に対するものなのである。自分のまわりの友、世界の友、そして時を越えて、20世紀に生きている私たちにも「友よ！」と語りかけているのだと思う。「みんなで苦しかったことを忘れ、明日に希望をつなごうじゃないか」とベートーヴェンは言いたかったのではないか。その温かな人間好きのベートーヴェンの心情が音楽から感じられるからこそ世界の人々にこんなにこの曲が愛されているのではないだろうか。彼はモーツァルトのように天才とは呼ばれないし、バッハのように家庭に恵まれたわけでもない。そしてシューマンのように繊細とも評されないし、ショパンのように容姿に恵まれたわけでもない。ベートーヴェンは努力の人といわれ、私たち普通の人間の代表格のような親密感を備えている。そんな感情を持ったベートーヴェンが、すべてのものに対する愛がいかに大切かということ、その音楽で訴えていると思う。

●第1楽章

Allegro ma non troppo un poco maestoso

広大な宇宙を思わせる神秘的な力強い旋律が、壮大な交響曲の開始を告げる。これは人生の苦悩や悲しみ、希望や慰めなどあらゆる感情が表現されている楽章である。ベートーヴェンは自分の生涯を振り返り、人生を戦いに例えたのではないだろうか。劇的で強いメッセージを持つ、幕開けにふさわしい音楽である。

●第2楽章 Molto vivace

弦の鋭い響きが全体に躍動感を与えている。また、ティンパニの小気味よいリズムも印象的である。これは初演時に大きな喝采を持って迎えられた楽章である。衝撃的なティンパニの独奏は当時の人々を驚かせ、アンコールの拍手がなりやまなかったとか。魂が浄められるような美しさ、そしてユーモアの精神も感じられる。

●第3楽章 Adagio molto e cantabile

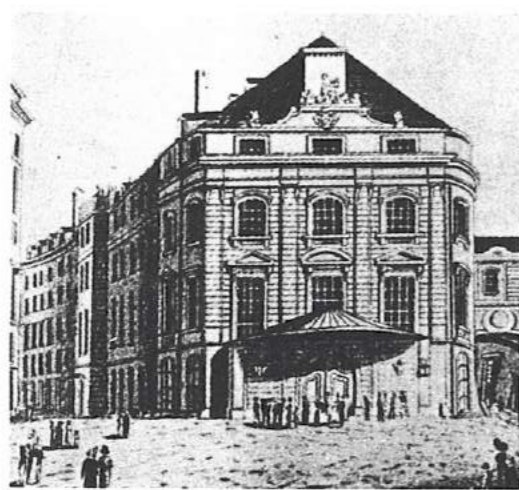
美しいゆるやかな楽章で、神への感謝を表すような祈りの気持ちが表現されている。やすらかな主題の変奏にはさまれた中間部が特に美しく歌われる。終わり近くのホルンの長いソロは、この時代としては画期的な用いられた方だったよう。歓喜を前にしたやすらぎを感じさせ、来るべき何物かに心の準備をうながすかのようなのである。

●第4楽章 Prest-Allegro assai

プレスト(きわめて速く)のファンファーレから始まり、低弦が何かを語りかけるようにレシタティーヴォを奏でる。続いてこれまでの3つの楽章の主題が少しずつ順番に現われてはそのたびにレシタティーヴォが打ち消し、そしてついにはあの「歓喜の主題」が聞こえてくる。やがて大音響とともにバリトン独唱によって「おお、友よ、このような調べではなく、もっと快い、喜びに満ちあふれた調べを歌おう」と力強く歌われ、独唱、重唱、合唱、オーケストラを一体化した歓喜の合唱「抱かんもろ人よ、心あわせて…」が始まる。歌はオーケストラに従うことなく、またオーケストラは歌に従うことなく、互いに豊かに融合し合っているのである。



歌劇「フィデリオ」序曲、楽譜の表紙。



「交響曲 第9番」が初演された、ウィーンのケルントナー劇場。

●ベートーヴェン

レオノーレ序曲 第3番 作品72b

ベートーヴェンが書いた序曲は全部で11曲あるが、そのうち4曲は歌劇「フィデリオ」のために作曲されたものである。たったひとつの歌劇のために4つの序曲…。このようなことは他に例を見ない。レオノーレという女性が男装してフィデリオと名を変え、政敵ビツァロのために幽閉されている夫フロスタンを救い出す…。という熱烈な夫婦愛をテーマとしたこの勸善懲惡の歌劇は1805年(35才)に初演された。そのときに演奏されたのが「レオノーレ 第2番」で翌年の改訂上演の際に書かれたのが「第3番」である。「第1番」はベートーヴェン自身が不満足だった所から作曲者の生前には発表されなかった。それから8年後の1814年にさらにペンを加え、決定版として上演されたときに演奏されたのが「フィデリオ序曲」である。このように、ベートーヴェンは改訂のたびごとに1曲ずつ序曲を書いていったのだった。

「レオノーレ 第3番」は、4つの序曲のなかでは最も規模が大きく、劇中の旋律をいくつか使っているのが、ちょうどこの劇を圧縮したようなかたちでできている。

悲劇的・神秘的な気分から始まり、しだいに明るさを増していき、歓喜のクライマックスで締めくくるといった設計は実にみごとである。

〈ベートーヴェンの自作〉

おお、友よ、この音楽ではない。
もったところよい、
もっと喜びに満ちた音楽を、
われわれはかなでよる。

〈F. シラー原詩〉

喜びよ、美しい神々の火花よ、至福の島エリージウムの娘よ、
われわれは火のように酔いしれて、崇高なところ、おまえの聖所へ踏み入る。
おまえの魔力は世のならわしがきびしく別けへだてたものを
ふたたび結び合わせ、すべての人びとは
おまえのやさしい翼のやすらうところに見弟となる。
一人の友の友となる大きな成功を得たものは、
やさしい妻をかち得たものは地上にただ一つの魂でも
自分のものと呼びうる者は、その歓喜をともにせよ。
そしてそれができなかった者は、
泣きながらひそかにこの仲間から立ち去るがよい。

すべてのものは自然の乳房から喜びを飲む。
すべての善いものも、すべての悪いものも、
自然のバラ色の道を辿ってゆく。自然はわれわれに接吻を与え、
ぶどうと、死の試を経た友を与えた。快樂は虫に与えられた。
そして光の天使ケルブは神の前に立つ。うれし気にひかりかがやく太陽が
壮麗な天界をわたるように、兄弟たちよ、
英雄が勝利に向かってすすむように、きみたちの道を喜ばしく進め。

数百万のひとびとよ、抱き合え。この接吻を、全世界へ。
天空のあなたに愛する父が住んでいるにちがいない。
きみたちはひざまづくか、
数百万のひとびとよ。
創造主に気付くか、世界よ。
天空のかなたに創造主を求めよ。
星のかなたに彼は住んでいるに違いない。

歓喜の歌

O Freunde, nicht diese Töne !
Sondern laßt uns angenehmere
anstimmen, und freudenvollere.

Freude, schöner Götterfunken, Tochter aus Elysium,
Wir betreten feuertrunken, Himmlische, dein Heiligtum !

Deine Zauber binden wieder, was die Mode streng geteilt;
Alle Menschen werden Brüder, wo dein sanfter Flügel weilt.

Wem der große Wurf gelungen, Eines Freundes Freund zu sein,
Wer ein holdes Weib errungen, Mische seinen Jubel ein !
Ja, wer auch nur eine Seele sein nennt auf dem Erdenrund !

Und wer's nie gekonnt, der stehle.
Weinend sich aus diesem Bund !

Freude trinken alle Wesen, an den Brüsten der Natur;
Alle Guten, alle Bösen Folgen ihrer Rosenspur

Küsse gab sie uns und Reben, Einen Freund, geprüft im Tod;
Wollust ward dem Wurm gegeben, Und der Cherub steht vor Gott.

Froh, wie seine Sonnen, fliegen durch des Himmels prächt'gen Plan,
Laufet ! Brüder, eure Bahn, freudig, wie ein Held zum Siegn.

Seid umschlungen, Millionen ! Diesen Kuß der ganzen Welt !
Brüder ! überm Sternenzelt muß ein lieber Vater wohnen.

Ihr stürzt nieder, Millionen ?
Ahnest du den Schöpfer, Welt ?
Such' ihn überm Sternenzelt !

Über Sternen muß er wohnen.



指揮 / 十 東 尚 宏 NAOHIRO · TOTSUKA

1960年東京に生まれる。幼少の頃よりピアノを学び、15才より指揮を高階正光に師事。桐朋学園大学音楽学部指揮科では、故森正、小澤征爾、秋山和慶、黒岩英臣、尾高忠明の各氏に師事。さらに同大学研究科に入學し研鑽を積む。

1982年大学在学中には、第17回民音指揮者コンクールで第1位に入賞し、1983年にはボストン交響楽団主催のタングルウッド音楽祭にパークシャー・ミュージックセンターのフェローシップ・コンダクターとして招かれクーセヴィツキー指揮大賞を受賞する。この受賞は、日本人として1960年の小澤征爾に次いで2人目という快挙であった。1984年、ボストン交響楽団に副指揮者として招かれ、新日本フィルハーモニー交響楽団第117回定期演奏会でデビュー。同年5月より1年間ベルリンに留学し、その間にもタングルウッドにおいて、レナード・バーンスタイン、アンドレ・プレヴィン、クルト・マズア等世界第一級の指揮者に師事した。

1985年「第11回若い芽のコンサート」にてNHK交響楽団を指揮。

1986年4月、ストックホルム・フィルハーモニー管弦楽団定期演奏会を指揮し、ヨーロッパ・デビューを飾り、翌年6月同フィルによるロッシェニの「シンデレラ」を指揮してオペラ・デビューを果たした。

1988年にはゾーリンゲン市立管弦楽団、さらに群馬交響楽団の指揮者に就任し、翌年4月から1992年3月まで正指揮者を務める。

1989年4月と1992年2月にはNHK交響楽団も指揮し大きな注目を集める。

1992年9月から東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団常任指揮者、1994年5月より広島交響楽団の音楽監督に就任し意欲的な活動を続けている。



東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団は、1975年自主運営のオーケストラとして、若く才能のある演奏家たちによって設立された。その年、ベオグラード音楽祭開幕演奏会を含むヨーロッパ公演、香港、マカオ公演を成功させ、プロオーケストラとしての軌道を築く。その後1985年にはオーストラリアのブリスベンとシドニーで行なわれた「題名のない音楽会」20周年記念演奏会に出演し、各地で絶賛される。1991年の第73回定期演奏会では文化庁芸術祭協賛になるなど、順調に成長を続け、現在も音楽的な進歩を追随して止まない。また年8回の定期演奏会をはじめ、「希望コンサート」など自主公演を活動の柱とし、クラシック音楽ファン拡大のためのポップスコンサート、スクリーンミュージック等も積極的に開催している。その他オペラ、バレエ等TV、レコード録音など広範囲に活躍し、特にTVにおいてはNHK総合ch「とくめき夢サウンド」、テレビ朝日「題名のない音楽会」を通じてその新鮮な魅力溢れる演奏を披露し、全国的に好評を博している。

創立20周年にあたる1995年には定期演奏会も100回を越え、江東区と提携関係を結ぶなど、新たな飛躍の年として充実した活動を展開している。

常任指揮者は、流麗なバトンテクニックと豊かな音楽性に定評のある十東尚宏。コンサートマスターには若くして将来を囑望されている山本友重、戸澤哲夫を擁している。また、芸術顧問として黛 敏郎が就任している。

Tokyo City Philharmonic Orchestra



Soloist

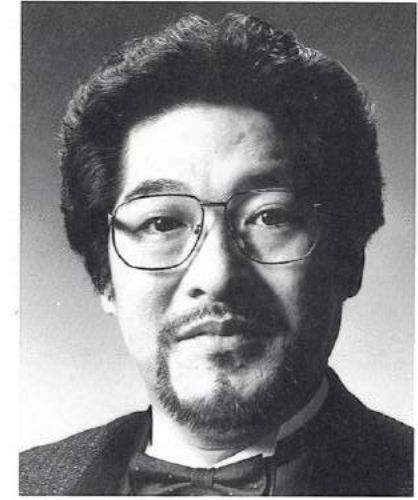
ソプラノ 岩井 理花 RIKAI IWAI

東京芸術大学及び同大学院修了。
1985年第54回日本音楽コンクール第2位。1988年ノヴァラ国際音楽コンクール入賞。テイト・スキーパ国際声楽コンクール第2位(1位なし)。1992年第1回藤沢オペラコンクール第2位。1986年文化放送賞受賞。1995年ジロー・オペラ賞受賞。
1982年「ラ・ボエーム」のミミでデビュー。1987年より1990年までミラノに留学。レッツェ市のポリテアマ歌劇場において「ラ・ボエーム」のムゼッタをはじめ、「ファウスト」のマルゲリータ、「蝶々夫人」のタイトルロール等を演じる。1991年のリサイタルで好評を博し、続く二期会創立40周年記念「神々の黄昏」ではヴェルグンデでも高い評価を得た。以後「ラインの黄金」のフライア、藤沢市民オペラ「トゥーランドット」のリュウ、小澤征爾指揮・新日本フィル公演「トスカ」のタイトルロール、「トロヴァトーレ」のレオノーラ、鎌倉芸術館での「サロメ」、東急文化村での「マダム・パタフライ」「ドン・ジョバンニ」のドンナ・エルヴィラと立て続けに大役を演じ何れも絶賛される。リリコ・スピントの美声と舞台映える容姿で、次世代を担うプリマとして期待されている。二期会会員。



テノール 五十嵐 修 OSAMU IGARASHI

武蔵野音楽大学声楽科卒業。
第14回イタリア声楽コンクールではシエナ大賞並びにテノール特賞受賞。第20回日伊声楽コンクール第2位入賞。第53回日本音楽コンクール第2位入賞(1位なし)。イタリアに於いて故マリオ・デル・モナコ氏に師事、ディプロマを授与される。
「魔笛」のタミーノでオペラ・デビュー。その後、「オテッロ」のオテッロ、「椿姫」のアルフレード、「蝶々夫人」のピンカートン、「カルメン」のドン・ホセ等数多くのオペラに出演しその優れた音楽性は、常に高い評価を受けている。特に二期会40周年記念公演「リゴレット」のマントヴァ公爵、「トスカ」カヴァラドッシでの演唱は「圧巻であった」と評された。また1994年二期会公演「イル・トロヴァトーレ」におけるマンリーコの演唱は人々に多大な感動を与えた。1995年2月には二期会公演「カルメン」のドン・ホセ、3月にはベートーヴェン「フィデリオ」のフロスタンとオペラ出演に奔走する1年であった。コンサート分野では、「第九」「莊厳ミサ」「メサイヤ」「モーツァルト・レクイエム」「ヴェルディ・レクイエム」等のソリストとして全国各地のオーケストラと共演し、幅広いレパートリーで活躍している。二期会会員。



アルト 岩森 美里 MISATO IWAMORI

国立音楽大学及び同大学院修了。
二期会オペラスタジオ第27期生修了。オペラ研究所第5期生修了。文化庁派遣芸術家在外研修員としてウィーンへ留学。
1982年「フィガロの結婚」でオペラ・デビュー。二期会オペラスタジオ修了公演、「カルメン」ではタイトルロールを見事に演じ特別賞を受賞。また「ワルキューレ」のロスヴァイセ以降、「ウインザーの陽気な女房達」のライヒ夫人、「フィガロの結婚」のケルビーノ、マルチェリーナ、「蝶々夫人」のスズキ、1991年二期会創立40周年記念公演「神々の黄昏」では第2のルン、「ラインの黄金」のフリッカ等を演じる。二期会40周年記念原語初上演「カルメン」でもタイトルロールに抜擢され、その豊かな歌唱力と演技で何れも好評を博している。また昨年9月には音楽之友ホールで初リサイタルを行い絶賛された。「第九」「ヴェルディ・レクイエム」「モーツァルト・レクイエム」「メサイヤ」等宗教曲コンサートにも出演し幅広い活躍をしている。二期会会員、室内歌劇場会員。



バス 高橋 啓三 KEIZOU TAKAHASHI

東京芸術大学卒業。
第44回日本音楽コンクール第2位受賞。1982年第10回、ならびに1989年第17回ジロー・オペラ賞を受賞。
芸大在学中に「トスカ」のアンジェロロッチェでデビュー。その後二期会を中心に藤原歌劇団、イタリア歌劇団(NHK)、日本オペラ、オペラプロデュース等の公演に出演。豊かな声量を誇る美声のバス・カンタービレとしてオペラに欠くことのできない存在である。主な役に「フィガロの結婚」のフィガロ、「魔笛」のザラストロ、「リゴレット」のスバラフツレ、「愛の妙薬」のドゥルカマラ、「タンホイザー」のヘルマン、「修善寺物語」の夜叉王等があり、スケールの大きい歌唱力と演技力で絶賛されている。最近では二期会創立40周年記念公演「神々の黄昏」のハーゲンを演じ、「その凄味のある歌唱と演技はひとときわ生彩を放ち、舞台上に緊張感を与えるに充分であった」と絶賛された。また二期会創立40周年記念公演「ラ・ボエーム」のコレローネ、「シモン・ボッカネグラ」のヤコボ・フィエスコでも好評を博した。
コンサート分野でも、「第九」「レクイエム」「メサイヤ」「マタイ受難曲」「口短調ミサ」など幅広いレパートリーを持ち、N響をはじめ主要オーケストラと共演も多く、我が国を代表する声楽家として活躍している。二期会会員。



ソプラノ

- | | | | | |
|-------|--------|-----------|-------|-------|
| 青山富枝 | 大勢待祐美子 | 坂本利子 | 能登庸子 | 三浦博子 |
| 朝野優美子 | 大田ゆか子 | 佐竹ひとみ | 箱井千恵子 | 湊谷 薫 |
| 阿閉恵子 | 大谷奈々子 | シャロン・ローバー | 橋爪晴子 | 宮崎和巳 |
| 飯沢裕美子 | 大辻智子 | 高見玲子 | 浜瀬良子 | 宮崎巳生子 |
| 伊藤容子 | 音頭万里子 | 経田恵子 | 浜屋真美 | 村椿悦子 |
| 稲場恵美子 | 角本睦子 | 寺林恵美 | 林 亜紀子 | 村椿尚美 |
| 伊野久美子 | 勝原幸恵 | 土井暁子 | 廣川慶子 | 保田和子 |
| 岩山留美子 | 経塚京子 | 長田雅子 | 廣木とも子 | 山田美穂子 |
| 上田郷美 | 吉島加都子 | 西川睦子 | 松田多賀子 | 結城美喜子 |
| 上田京子 | 米屋叙子 | 西山靖子 | 間部澄子 | |
| 上野志津子 | 坂口弘美 | 能島京子 | 松本幸子 | |

アルト

- | | | | |
|-------|--------|-------|-------|
| 朝田美尾子 | 本木久美子 | 得能真知子 | 堀口恵子 |
| 新井圭子 | 熊野幸子 | 栢沢富美子 | 前田ふさ |
| 新井美穂 | 窪野さより | 飛世ちか子 | 増子淳子 |
| 飯野順子 | 小栗松香織 | 堂口沙笑子 | 松尾珠美 |
| 池村玉江 | 近藤外喜子 | 中坂陽子 | 松谷しのぶ |
| 石蔵圭子 | 佐々木美和子 | 中島二美子 | 南塚美代子 |
| 稲沢多鶴子 | 佐藤朝子 | 中陳幸恵 | 宮田淳子 |
| 入江清美 | 佐渡美也子 | 七沢幸子 | 村井富子 |
| 岩田博子 | 島 美由紀 | 野田久美子 | 村瀬靖子 |
| 上原暁美 | 城 保子 | 能村真智子 | 森田美和子 |
| 扇谷美美子 | 関口隆子 | 橋本美輪子 | 森内裕子 |
| 梅原恵美子 | 高岡尚子 | 長谷川結子 | 森田優子 |
| 大坪由美子 | 高村広子 | 花岡光子 | 森山良子 |
| 大野順子 | 高森知音 | 晴被富子 | 安原麗子 |
| 萩野敦子 | 竹山孝子 | 飛弾恵子 | 山口加奈恵 |
| 萩野美知子 | 田中一代 | 平山順子 | 山沢高枝 |
| 萩野基子 | 谷 笑子 | 平山裕子 | 山田寿美子 |
| 小倉洋子 | 大上戸美智子 | 福島やす子 | 米田慶子 |
| 紙谷米子 | 辻 美智子 | 藤田省子 | 余西典子 |
| 木野本靖子 | 東 狐 和 | 藤田貴子 | 綿 真理子 |

テノール

- | | | |
|------|--------|-------|
| 伊東景治 | 新井哲郎 | 松谷茂樹 |
| 魚谷国勝 | イアン・カー | 武藤 泉 |
| 尾川敬一 | 五十里大樹 | 八木拓道 |
| 大野久芳 | 今仲義博 | 柳川一成 |
| 小倉政美 | 加藤敏明 | 米田幹雄 |
| 龍浦哲郎 | 川原辰雄 | 米田隆太郎 |
| 川西真人 | 北山善幸 | 中 毅士 |
| 川端康夫 | 小林哲哉 | |
| 木下博信 | 島倉敏夫 | |
| 上坂芳弘 | 田中義三 | |
| 越 雄一 | 大上戸里志 | |
| 桜井 麗 | 寺林武司 | |
| 南保弘幸 | 土肥弘幸 | |
| 西中雅博 | 長田行正 | |
| 八川 進 | 箱井 勉 | |
| 広野 誠 | 長谷川光一 | |
| 福島光繁 | 幅口文史郎 | |
| 深川英久 | 広瀬孝信 | |
| 藤田信幸 | 平田謙司 | |
| 松倉正機 | 松島英志 | |
| 山口正人 | | |

バス

- | | |
|--------|-------|
| 新井哲郎 | 松谷茂樹 |
| イアン・カー | 武藤 泉 |
| 五十里大樹 | 八木拓道 |
| 今仲義博 | 柳川一成 |
| 加藤敏明 | 米田幹雄 |
| 川原辰雄 | 米田隆太郎 |
| 北山善幸 | 中 毅士 |
| 小林哲哉 | |
| 島倉敏夫 | |
| 田中義三 | |
| 大上戸里志 | |
| 寺林武司 | |
| 土肥弘幸 | |
| 長田行正 | |
| 箱井 勉 | |
| 長谷川光一 | |
| 幅口文史郎 | |
| 広瀬孝信 | |
| 平田謙司 | |
| 松島英志 | |

chorus

黒部で第九を歌う会

(株) アイル 黒部市荻生4422 ☎(0765)52-5700	アップルヒル 魚津市上村木 ☎(0765)23-1100	黒部クリーン(株) 黒部市北野47-2 ☎(0765)52-0047
黒部ライオンズクラブ	共和土木(株) 黒部市吉田681 ☎(0765)57-1176	桜井建設(株) 黒部市新町1 ☎(0765)52-1200
(株)サニードライブプロダクト 黒部市堀切1525-1 ☎(0765)54-2700	菅野印刷興業(株) 黒部市若栗2630 ☎(0765)54-0112	レディス装苑ひろの 黒部市三日市1207 (S.C.メルシー内) ☎(0765)54-1203
生地温泉たなかや 黒部市生地吉田新230 ☎(0765)56-8003	棚山ゴルフ倶楽部 朝日町棚山地内 ☎(0765)84-8800	ダイヤテックス(株) 黒部市香掛2000 ☎(0765)52-1700
中央化学(株)北陸工場 黒部市中陣694-1 ☎(0765)58-1211	東洋センマイ(株) 黒部市岡435 ☎(0765)52-0208	中井 酒店 黒部市三日市3211 ☎(0765)52-0121
中西グループ協同組合 黒部市牧野89-1 ☎(0765)52-0526	(株)ナカノ 黒部市犬山213-1 ☎(0765)52-1896	新川水橋信用金庫桜井支店 黒部市三日市3146-1 ☎(0765)52-0227
北星ゴム工業(株) 黒部市岡362-14 ☎(0765)52-0001	(株)北陸機材 富山市上赤江1-17-1 ☎(0764)41-5411	北陸銀行黒部支店 黒部市三日市3320 ☎(0765)52-1212
ホテルロイヤルバリー黒部 黒部市天神新353-1 ☎(0765)54-1000	(株)堀内商会 黒部市三日市2586-3 ☎(0765)54-0511	松倉呉服店 黒部市三日市3117 ☎(0765)54-0529
松原工業(有) 黒部市岡362-5 ☎(0765)54-1015	丸田工業(株) 黒部市中新503-3 ☎(0765)52-1638	(株)ミツイ 黒部市中新398 ☎(0765)52-0092
皇国晴酒造(資) 黒部市生地四十物296 ☎(0765)56-8028	(株)山口技研 入善町道古183 ☎(0765)72-4344	(株)吉田商会 黒部市香掛567 ☎(0765)54-1371



YKK株式会社



KDD

第九友の会会員

四十物 直 二 (㈱四十物昆布代表取締役)	武 隈 勉 (㈱タケタマ)
朝 倉 秀 芳 (㈱カーメンテナンス朝倉代表取締役)	田 中 純 子 黒部市議会議員
浅 野 博 浅野ヒック家具工業㈱社長	谷 笑 子 第九を歌う会会員
朝 田 美尾子 第九を歌う会会員	辻 武 黒部商工会議所専務理事
飯 野 孝 イイノ内装	椿 秀 雄 黒部混声合唱会主宰
池 田 健 吉 池田内科医院	鳥 居 義 知 エスタワイヤシテイホテル代表取締役
池 村 清 書道教室主宰	中 上 彬 第九友の会会長
石 村 信 一 ㈱石丸楽器社長	中 島 重 春 中島観光百貨店
泉 田 利 祐 泉田醤油店代表取締役	中 陳 和 一 生地蒲鉾代表取締役
稲 沢 多鶴子 第九を歌う会会員	中 田 勝 代 中田勝代音楽教室主宰
稲 場 恵美子 第九を歌う会会員	長 田 雅 子 第九を歌う会会員
大 坪 健 大坪法律事務所	長 田 美津枝 黒部市連合婦人会副会長
大 坪 作 磨 ㈱生地第一温泉代表取締役	南 保 弘 幸 黒部市収入役
大 坪 由美子 第九を歌う会会員	長谷川 徹 ㈱長谷川工務店代表取締役
大 野 久 芳 黒部市議会議員	浜 田 浩 志 ㈱延家代表取締役社長
荻 野 幸 和 黒部市長	林 繁 隆 八尾物産社長
小 倉 政 美 第九を歌う会会員	バ レ ス 扇 寿
女 川 清 女川歯科医院	飛 弾 恵 子 第九を歌う会会員
(株)開進堂楽器	平 井 輝 子 「青い空」主宰
角 本 睦 子 第九を歌う会会員	平 岡 国 雄 桜井ハム代表理事
湯 田 正 夫 湯田石油㈱社長	舟 屋 悦 郎 ㈱ふなや代表取締役
加 藤 耕 一 (㈱音楽舎カトウ社長)	(株)麗輝ふなや
金 田 亮 金田外科医院	堀 内 三 郎 富山県議会議員
川 端 康 夫 川端織工㈱代表取締役	前 田 ふ さ 第九を歌う会会員
北 山 善之進 北山歯科クリニック	間 部 澄 子 第九を歌う会会員
北 山 良 清 (㈱北山仏具店)	宮 腰 光 寛 富山県議会議員
吉 島 加都子 第九を歌う会会員	(有)ミヤコ楽器店
狐 塚 省 蔵 宇奈月グランドホテル常務取締役	宮 田 淳 子 第九を歌う会会員
黒部ロータリークラブ	村 井 富 子 第九を歌う会会員
黒部市芸術文化振興協会	森 丘 實 第九を歌う会会長
小 林 哲 哉 前沢ガーデンハウス料理長	武 藤 憲 夫 富山女子短期大学助教授
坂 井 守 グリーンホテル喜泉代表取締役専務	武 藤 葉 子 黒部音楽院講師
佐 渡 美也子 第九を歌う会会員	門 前 正 洋 小泉印刷専務取締役
島 倉 敏 夫 YKK㈱専務取締役	八 木 正 黒部市
城 保 子 第九を歌う会会員	山 沢 蔦 枝 第九を歌う会会員
大上戸 茂 夫 大上戸電気㈱	山 下 武 志 山下製材所専務
高 岡 尚 子 黒部市連合婦人会副会長	米 沢 幸 明 黒部紙業㈱代表取締役
鷹 田 喜 朗 タカタ精肉店	渡 部 佐 敏 (㈱タートルライン代表)
高 村 広 子 第九を歌う会会員	

あいうえお順 (敬称略)

黒部で第九を歌う会役員

会 長 / 森丘 實	監 事 / 島倉敏夫	事 務 局 長 / 三井適夫
友の会会長 / 中上 彬	理 事 長 / 松倉正機	特 別 講 師 / 浅岡節夫 関屋 晋
副 会 長 / 田中純子	副 理 事 長 / 武藤憲夫	合 唱 指 導 者 / 椿 秀雄 中田勝代
顧問 / 宮腰光寛	長谷川光一	三 井 香
堀内三郎	理 事 / 南保弘幸	練 習 伴 奏 者 / 法原瑠美佳 四十竹清美
北日本新聞社	大野久芳	池村玉枝 堀内康男
北日本放送	椿 秀雄	前田ふさ 間部澄子
富山県合唱連盟	田中義三	沢田邦男 三井 香
参 与 / 黒部市芸術文化振興協会	広野 誠	北山善章 平井輝子
黒部ライオンズクラブ	山口正人	亀谷政春 長田美津枝
黒部ロータリークラブ		高岡尚子 中田勝代